

2025/8/22	
議 事 録	
アパレル造形科 教育課程編成委員会ミーティング	
日 時	2025年8月6日(水) 16:30～17:00 オンライン
場 所	東京服飾専門学校(3FH1) 豊島区巢鴨1-19-7
企業出席者	日本アパレル工業技術研究会 福永様
	株式会社ステップス常務取締役 塚田 龍一様
	株式会社アズノウェア 執行役員 管理本部長 中村 潤 様
	有限会社ビーシーコスチューム代表取締役 太田えりこ様
	株式会社クレヨン人事営業部マネージャー 森井久美子様
	非常勤講師 榑谷様・吉岡様・大森様・廣瀬様・山内様(5名)
	常勤教員 石川・古賀・リビ・中島・花園・田中・石川誠・鷺(8名)
欠 席 者	3名
概要	1.教育課程編成委員会の学内位置付けと、教育内容向上への取り組み
	2.教育・育成内容向上に関する取り組み(成果・課題)
	以上について業界の求める人材を学科として育てているか、意見を収集して改善を図る
内容	①挨拶
	・教育課程編成委員会の学内位置付けと、教育内容向上への再確認
	・当校教育理念の共有と時代・価値変化に伴う意義説明
	②職業実践講座授業の実施途中結果
	石川誠
	・教育課程編成委員会の趣旨を説明。
	・今回の教育編成委員会の目的と議事項目の紹介。
	・出席者紹介
	・アパレル造形科
	①1年基礎科
	はじめに洋服を作る事において必要な基礎部分、自分の作りたい服をデザインし、製図、生地を裁断
	縫製を行う、一連の流れを身につけさせる事と、総合的に洋服をとらえる事が出来るような授業内容に重きを
	おいている。
	・しっかりと将来自分の目指す仕事につけるように、学生のうちからやりたい事、出来る事の見極めが
	つけられ、目標に向かって努力できるように指導を行なってゆく
	②2年アパレル造形科デザイナーコース
	アパレルデザイン実習→ポートフォリオ作成(デジタルツールの使用、就職活動)
	デザインワーク→Tシャツのシルクスクリーン
	服飾技術実習→デザイン・パターンを意識した作品作り
	③2年アパレル造形科パタンナーコース
	アパレルCAD→CADの操作・コントロールキーの学習、ポートフォリオ制作(就活用)
	ドレーピング→デザインによるピン打ちのテクニック・PM検定の対策
	服飾技術実習→デザイン・パターンを意識した作品作り
	パターンCAD操作の習得を指導、検定習得の指導、アパレル業界で活躍できる知識の習得
	Ipadを使用したデザイン画、平絵、インタラクティブボードを使用したプレゼンテーションの強化
	④3年専攻科
	アパレルのデザイナー、パタンナーとして、必要な知識、高度な服作りができるように指導してゆく。
	⑤産学連携実習
	デザイン科、パタンナー科は前期の産学連携実習授業はありません。
	後期の予定として【株式会社BIGI様】提供して頂いた生地を使いノベルティ作成(サコッシュ・トートバッグ・エコバッグ)
	[外部見学として]
	衣裳博物館にて衣装展の見学「どうしてなんだか似て服」
	「かたちが似てる」「もようが似てる」に分けて紹介それらを互いに並べて見比べる。
	* 林田もずる先生の講演会のお知らせ/雑誌『モーニング』で『アパレルドッグ』を連載中の林田もずる先生が当校に
	ご来校され、講演会が開催されました。tfacとのコラボ、コンペティションのお話もありました。
研修活動	・職員による勉強会の強化 職員によるミシンなど新しい機材、縫製ルートの確認などの工場見学、研修 辻洋装店、(株)ツヅキ工場、ソーイングアサヒ(株) 報告、レポート提出
まとめ (総括)	・教育指針 本校として、学生に対してどのような指導を行い、学生を将来的にどう導いていくのか 教育の最終目的の部分が参加者の方々と共有出来た事が特に大きい事だと確信しております、 今後も今回提示させて頂いた目標に向かって学生への指導を進めて行きたいと思っております。
作成者 鷺典子	